



AIYES 通信

横浜スペイン協会会報

発行：横浜スペイン協会 横浜市鶴見区岸谷 2-18-4 年 2 回発行（1 月, 7 月）

2024 年度横浜スペイン協会定時総会のご報告

[議事録]

1. 日時： 2024 年 5 月 25 日（土）15 時～16 時 30 分
2. 場所： かながわ県民センター 302 号室
3. 出席者： 下山利明、岩田岳久、松村清、原健三郎、服部君江、大戸正彦、星野伸行、熊谷忍、朝倉聡、久安邦明、福長昭代、下山綾子、大戸尚美、芹沢高、吉田英也、吉田明美
（敬称略）合計 16 名
4. 議長： 下山会長
5. 議案： 第 1 号議案：2023 年度事業報告
第 2 号議案：（1）2023 年度決算報告
（2）監査報告
第 3 号議案：2024 年度事業計画案について
第 4 号議案：2024 年度予算案について
6. 議決：第 1 号議案から第 4 号議案に関して審議を行い、出席者全員の賛成で承認、可決された。
7. 議事内容：
 - 1) 大戸総務担当理事の司会で開会し、冒頭下山会長より挨拶があった。2023 年度も積極的な活動が展開された一方、スペイン語クラス受講者数や会員数の減少、理事の担い手の不足など、協会運営の課題も顕在化してきているとの説明があった。
 - 2) 協会規約第 10 条 2 項に従い、下山会長が議長に選出され、大戸理事より、第 1 号議案の説明があった。
 - 3) 引き続き第 2 号議案（1）について、大戸理事より説明があった。その後同議案（2）について星野監事より監査報告があり、2023 年度の会計処理は適切に執行された旨の説明があった。
 - 4) 第 3 号議案について下山会長より基本方針の説明があり、引き続き各担当理事が各業務について説明を行った。スペイン語教室の運営について、岩田理事より受講料の値上げや受講者数が減少したクラスの統廃合案の説明があり、質疑応答があった。
 - 5) 第 4 号議案について下山会長より、予算策定の基本方針について説明があった。
8. 報告事項：理事、監事選任について
下山会長より、協会規約第 5 条 3 項に従い、2024 年度の理事・監事の選任報告があった。

会長	下山利明	広報担当
理事	岩田岳久	スペイン語教室担当

理事	松村清	会計、スペイン語教室担当
理事	原健三郎	スペイン・サロン担当
理事	大戸正彦	総務・企画担当
新任	監事 芹沢高	
	監事 吉田英也	
退任	理事 服部君江	
	監事 星野伸行	
	監事 問屋正勝	



最後に退任される服部理事、星野監事から退任のご挨拶があり、新任の芹沢氏、吉田氏から就任のご挨拶があった。以上をもって議事をすべて終了したので議長は閉会を宣した。

*新春親睦パーティー

1月25日（土）「港の見える丘公園」に隣接した「KKR ポートヒル横浜」で、恒例の新春親睦パーティーが開催されました。コロナやインフルエンザの心配が無くなったわけではありませんが、会員、スペイン語教室受講者、ご家族、ご友人を含め当日42名の参加がありました。

司会は会員の大戸尚美さん。下山会長のご挨拶、岩田理事の乾杯のご発声でパーティーが始まり、今回は来賓の名古屋スペイン協会の相澤事務局長と山形スペイン協会の武田会長より祝辞をいただきました。

パーティーのメインイベントは高木洋子さんと佐々木巖さんのスペイン音楽の演奏会でした。全部で8曲の素晴らしいスペイン音楽の披露で、参加された方は美しい旋律に聞きほれていました。後半パートでは、新入会員の吉田明美さん、芹沢高さんをご紹介。坂間史郎さんのフラメンコ音楽のアカペラと踊りの披露、滝澤三枝子さんのピアノ演奏と続き、最後は下山綾子さん進行でビンゴゲームが行われました。参加者全員に景品が行き渡り、大いに盛り上がりました。そして最後は問屋さんの閉会のご挨拶。4月からのサンチャゴ巡礼の旅のご紹介もしていただき、盛況の内に閉会となりました。ホテルのおいしい料理に舌鼓を打ち、ワインではほろ酔い気分になった方も多かったのでは。（大戸正彦）

2025年は2月1日（土）に開催予定ですので皆様ご期待ください。



●スペイン語クラス

◆新聞クラス特別公開講座のご報告

1月27日(土)波止場会館にて以下の通り特別公開講座が開かれました。
テーマ：『地中海からピレネー山脈まで。カタルーニャの文化と言語入門』
講師：Víctor Pérez Villuendas 先生（横浜スペイン協会語学講座講師）
通訳：栗山由美子 先生



紀元前3世紀ごろの新興ローマによるイベリア半島制圧を端緒として、カタルーニャをどのような諸勢力が統治し、またその中でカタルーニャの文化がどのように発生・派生していったのか、講師の Víctor 先生にお話いただきました。特にカタルーニャ語に関して、その起源はピレネー山脈の麓で話されていた口語のラテン語である俗ラテン語が8世紀から10世紀の間に発展したもので、南仏のオクシタン語/オック語と起源を同じくすることを語っていただき、最後にカタルーニャ語の簡単な表現を教えてくださいました。スペインの歴史に造詣のない私にとってはどのお話も大変新鮮でした。一方で、前提知識の不足から理解できなかった部分も多くありました。より知識のある方にとっては、さらに興味深い内容だったのではないのでしょうか。スペインでは諸部族、諸勢力、諸宗教で覇権の奪い合いや勢力の統合があり、カタルーニャはもちろん、その他の地域でも多様で複雑な関係性があるのでは、と想像できます。南米では、多くの人がスペイン語を castellano と呼んでおり、滞在当時は手習いのスペイン語知識で (español では…?) と考えていましたが、スペインという国の複雑性をごくわずかですが知った今は、castellano という名称は納得だなと思います。さらに、この castellano にも諸々複雑な歴史がある予感がしています。

以下は余談です。お話の中でピレネー山脈東部の Cerdanya 地域とイタリアの Cerdeña 島が酷似しているという話題が出ました。カタカナにすると片やカタルーニャ語によせてサル「ダ」ーニャ、片やサル「デ」ーニャだそうで、混同するのもむべなるかな、と改めて納得してしまいました。

Víctor 先生、改めまして素晴らしいお話をありがとうございました。(原本義浩)

◆23回クラス委員会のご報告

3月7日(木)年1回開催に変更となって初めてのクラス委員会を開催しました。委員会の前に栗山先生と山田先生をお招きして昼食をご一緒した後、下山会長、3名の担当理事、9名のクラス委員がクラス委員会に出席しました。初めに担当理事からクラス運営の現状について説明し、受講生数が85名と5年前に比べ41名減少しているため、昨年10月にフレンチとリリオを統合したほか、カメラアを中級会話クラスに変更し、県民センター1階に広告を掲載、講座案内のパンフレット最新版を作成するなど受講生を増やす対策を実施したことを報告しました。また、入門クラスを最低2年に1クラス開講するほか、既存クラスでカバー出来ない内容をカバーする「お試しクラス」を開講する方針を説明しました。クラス委員からは、各クラスの現状報告があり、先生方が受講生の要望等に合わせた内容の授業をいただいていることが確認されました。また、意見交換の中で各クラスの授業内容を知りたいとの要望があり、各クラス委員による協会ホームページでのクラス紹介を行うほか、月1回の会話・作文クラスを土曜日に開講できないか検討することになりました。(岩田岳久)



🌸 León 桜の生育状況確認 報告

過去3回（2015, 2017, 2018年）に渡り、スペイン・レオン県ビエルソ郡近郊に「さくら植樹」を実施して参りましたが、最後に訪問した2018年から早6年が経過しました。今回、5月30日に当地を訪問して植樹を実施した7ヶ所の桜の生育状況の確認を行いました。毎回お世話になっている元Priaranza 町長の José Manuel Blanco Gómez 氏に現場をご案内頂きました。参加メンバーは会員7名に加え、冬の道の巡礼に参加する、巡礼ハイキングトレーニング仲間の2名の9名で全ての場所を訪問して桜の生育状況を確認することが出来ました。以下にその状況を記します。

1. ポンフェラーダ城 ⇒ 順調に生育
2. 「冬の道」巡礼路 ⇒ 順調に生育
3. 「冬の道」巡礼路(Villavieja) アルベルゲ municipal ⇒ 順調に生育
4. Palacio de Canedo ⇒ 順調に生育
5. Carucedo 湖畔 ⇒ 全滅、跡形無し
6. Las Médulas 駐車場 ⇒ 全滅、跡形無し
7. Villalibre de la Jurisdicción 町の公民館前⇒全滅、跡形無し

結論として、四勝三敗。全滅、跡形無しの理由としては、政治的な原因と自然動物、病気で枯れたり切られたりしたものがあるとの事でとても残念です。

生育の確認後、参加メンバー全員でPalacio de Canedo のボデガ「PRADA A TOPE」で昼食会、オーナーのPrada 氏に美味しいワインをご馳走して頂き、関係者との懇親を深めました。2018年から6年ぶりにレオンを訪れ、残念ながら3ヶ所の桜は枯れてしまいましたが、4ヶ所は順調に生育していることを確認出来、1日という短い時間でしたが、充実した訪問となりました。昨年はアンダルシア・ロンダ市での「さくら植樹」を実施。現在はこの2ヶ所での「さくら植樹」事業、文化交流が行われています。当協会の事業内容の最初に書いてあるのは、「桜をスペインに植樹し、スペインとの文化交流を図る」です。この趣旨に賛同された創設者の方々の志は1990年に協会が創立されて34年が経過した今も受け継いでおります。今後もこの事業は継続して行って参ります。多くの会員の方々に参加して頂きスペインと日本の友好親善関係の絆を皆で更に強めて参りたいと考えております。（下山利明）



モリナセカ全員集合



ポンフェラーダ城



モリナセカ Alfonso Balboa 町長



Sr.Prada 次々とボトル抜栓



郷土料理 botillo



牛の生ハム cecina

🌸 León 桜の生育状況 (2024 年 5 月 30 日)



1. ポンフェラーダ城 ⇒ 順調に生育



2. 「冬の道」巡礼路 ⇒ 順調に生育



3. 「冬の道」巡礼路アルベルゲ ⇒ 順調に生育



4. Palacio de Canedo ⇒ 順調に生育



5. Carucedo 湖畔 ⇒ 全滅、跡形無し



6. Las Médulas 駐車場 ⇒ 全滅、跡形無し



7. Villalibre de la Jurisdicción 町の公民館前 ⇒ 全滅、跡形無し



レストラン「PRADA A TOPE」昼食会

🌸 巡礼路 冬の道 桜の生育状況（2024 年 5 月 31 日）

今回、レオン近郊での桜の生育状況確認後、翌日の 5 月 31 日からプライベートな旅行で家内とガリシア州へ向かう途中で Monforte de Lemos と Chantada へ寄り道をしました。ここは、日本スペイン外交関係樹立 150 周年の年であった 2018 年に、サンティアゴ巡礼（冬の道）を歩きながら、桜を植樹した思い出深い場所です。当時の記憶を頼りに、植樹した場所を特定出来き、生育状況の確認が出来ましたので、報告させていただきます。

1. Monforte de Lemos (Rúa Chamoso Lamas)
2. Chantada

2ヶ所とも、少し小ぶりですが元気に育っており、地元の方の憩いの場所になっており安心しました。
(下山利明)

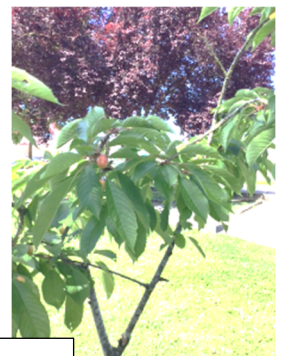
Monforte de Lemos (Rúa Chamoso Lamas)



2018.09



2024.05



Chantada



2018.09



2024.05



* 巡礼路の小さな街で

今回の旅では、巡礼路を歩く協会の皆さんと一緒に以前に植樹した桜を見て回るイベントに、個人旅行を組み込ませて、スペインの北部を回って参りました。レオンからレンタカーで、ガリシア州の海沿いの都市まで走りました。途中サンティアゴ・デ・コンポステーラ経由でポルトガルへ寄り道もしながら、車でなくては訪れるのが難しそうな小さな村々を通りました。上の写真の2か所は、冬の道とよばれる巡礼路にあるこじんまりとした街です。昔の写真を頼りに確認すると桜は確かに大きく成長していました。どちらの公園もきれいに整備されていて、ご老人達がのんびりとベンチに座っていました。上の写真の公園では植えたはずの場所に街路灯が設置されていましたが、公園の美化と安全のためならば、伐採はいたし方ありません。下の写真も、プレートはなくなり赤いお花が植わっています。ベンチのご老人に尋ねると、以前あったのは覚えているけど今はないねと。(había と fue でほぼ会話成立!) 押しつけの植樹ではなく、地元の人々のニーズに合った形での交流が大切、と改めて考えさせられました。(下山綾子)

●スペイン・サロン

◆「手紙で読むーゴヤの芸術とその時代」

2024年3月1日(金) 波止場会館 4F

講演者：早稲田大学名誉教授 大高保二郎先生



大高先生はロンドンで偶然「ゴヤの手紙」の英訳本を見つけ日本語訳を考えたそうです。「ゴヤの手紙」翻訳の過程でゴヤの絵には無い肉声が聞こえ、絵画のみから構築されたゴヤ像との間に大きな乖離を感じたとのこと。絵画に対する主観的イメージと文字資料の具体的な言葉でゴヤの理解が深まったということでしょう。私のゴヤに対するイメージは聴力を失い晩年に住んだ＜聾者の家＞の壁に描いた「黒い絵」に象徴される暗く陰鬱な

画家。「我が子を食らうサトゥルヌス」を描いたおどろおどろしい画家。「カルロス4世とその家族」では中央にFeaな王妃マリア・ルイサを描き、中央から少し外れて無能と評判の夫カルロス4世を愚鈍に描くという宮廷（の雇われ）画家としてはあり得ない作品から当時の王侯貴族に対する批判精神に溢れた反骨の画家というイメージでした。しかし、先生によれば「ゴヤの手紙」を読むとゴヤは王侯貴族に対する批判や風刺の意図はなく王妃の醜さが目立っているのはモデルの本当の姿を正直に描こうとしたただけであろうとのことでした。正直すぎると思いますが王妃の反応は如何だったのでしょうか。今回の講演を通して私の抱くゴヤ像は少し変化しました。絵画だけでは読み取れない部分を「ゴヤの手紙」の様な文字資料で補うことがゴヤの理解には必要と実感した次第です。（宮岡栄一）

◆ 「シェリーの魅力を知る」

2024年5月18日(土) 波止場会館 1F Sala

講演者：大戸尚美氏

シェリーはスペイン南部、アンダルシア地方のヘレス・デ・ラ・フロンテーラという街を中心に作られているワインです。辛口から極甘口まであるシェリー。製法の違いで色々なタイプのシェリーが造られることを学び、新たな発見を楽しむ。



<当日の試飲シェリー>

- ① Fino フィノ パロミノ 100% アルコール度数 15%

「フロール」という酵母の膜によって酸化しないように熟成します。辛口で非常にクリーン 繊細でアーモンドの香りがします。

- ② Amontillado アモンティリャード パロミノ 100% アルコール度数 17.5%

フィノ由来の繊細な風味と酸化熟成による深いコクのバランスがよく非常になめらかな口当たりドライかつソフトで樽香や干しぶどう アーモンド ヘーゼルナッツの香りが感じられます。力強く琥珀色で繊細なシャープ差があります。食前酒 発酵食品 中華料理と相性が良いです。

- ③ Oloroso オロロソ パロミノ 100% アルコール 度数 17.5%

木やクルミ 焼き栗 ビターチョコ のようなニュアンスのある 強くたくましい中に 温かくまろやかな香りを感じる酸化熟成した辛口ワインです。オロロソとは香り豊かという意味があるようにリッチで濃縮感のある伝統的なドライシェリーワイン。スパイシーな料理 ジビエや煮込み料理などに合います。



●スペインサークル

◆旅でスペインを識ろう会

① 2024年1月22日(月)

「車でめぐる 1800 kmの旅—スペイン北部サラゴサからポルトを経てマドリードまで」 (原澤由紀さん)

② 2024年2月19日(月)

「太鼓祭りと3つの洞窟 (Sorbas, Purpi, Nerja) 巡り」 (胡桃澤恒二さん)

③ 2024年3月11日(月)

「ノープランでバルセロナ10日間」 (赤佐、水川、妻鳥さん)

④ 2024年4月8日(月)

「古代ローマの『銀の道』、ガイドブックには載っていない裏話、前編」 (山田るり子先生)

⑤ 2024年5月20日(月)

「古代ローマの『銀の道』、ガイドブックには載っていない裏話、後編」 (山田るり子先生)

⑥ 2024年6月10日(月)

「私のスペイン旅行記」 (芹沢高さん)

新会員紹介

内田 敏恵 (Toshie Uchida)

横浜市港北区在住 2024年4月入会

一年半前からスペイン語講座を大変楽しく受講しています。意欲的でアクティブな先輩方にならって私もできるだけ長く続けていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

石村 豊 (Yutaka Ishimura)

横浜市青葉区在住 2024年4月入会

初めての渡航先(約40年前)がスペインで、それ以来スペインに魅了されています。当時合計で2.3年間スペイン語を学びましたが、協会のスペイン語教室を受講してスペイン語を話せるようになりたいと思っています。また、会員の皆様とスペインについてお話しする機会を楽しみにしています。よろしくお願いいたします。

横山 茂郎 (Shigero Yokoyama)

横浜市金沢区在住 2024年6月入会

作家ヘミングウェイのファン。彼のスペインを舞台にした作品に惹かれ、スペインを旅行。その歴史ある文化、建築物、美術作品に触れ、益々スペインに興味をもった。現地の方とコミュニケーションできるようになりたいと望み、スペイン語を習得中。まだまだの力量ですが、貴協会に入会し、一層スペイン文化を理解したいと希望しています。

<<賛助会員各社の会員サービス内容>>

◆会員証の提示で、下記賛助会員企業より表記のサービスが受けられます。

賛 助 会 員	住 所	☎番号	会員サービス
カサ・デ・フジモリ 関内本店	横浜市中区相生町1-25	045-662-9474	サングリア1杯無料
Bar Español	横浜市中区相生町2-43-2	045-651-1074	サングリア1杯無料

【編集後記】5月末から6月初旬のスペイン滞在期間、北部はずーっと晴、暑かったのです。北部ガリシアの海岸はRías Baixasといわれ、日本でもリアス式海岸と呼ばれる崖が多い海岸線には、広いビーチはあまり見かけません。ところどころある入江の海水浴場では、夜9時まで、沢山の人が泳いでいました。10時まで明るいのには驚きましたが、近々EUはサマータイム制度を止めるらしいですね。その方がいいと思います。疲れちゃいますよ。子供たちは公園で10時までサッカー…ああ、だからスペイン強いのかも!! (AS)

編集長/下山綾子 編集委員/ 岩田岳久 大戸正彦 下山利明 原健三郎 松村清

投稿寄稿宛先 E-mail

全般 : info@yokohama-spain.jp

スペイン語教室: spanish_class@yokohama-spain.jp

スペイン・サロン: spain_salon@yokohama-spain.jp

ホームページ : http://www.yokohama-spain.jp

横浜スペイン協会